

課題名 今、改めて、「電気エネルギー」と「社会」の明日を考える～9.06 ブラックアウト：その現象と社会的影響、その教訓をどう活かすか～
場 所 北海道科学大学 A棟 308
日 時 平成 31 年 3 月 13 日（水）午前
提 案 電気学会 研究調査会議
概 要 去る平成 30 年 9 月 6 日に発生した“北海道ブラックアウト”は、停電の社会的影響の広がりと電力エネルギーライフラインの重要性をあらためて浮き彫りにした。“北海道ブラックアウト”の検証は、広域機関を中心に進められているが、電気学会は、電気学術の発展を担う専門家集団として、機逸することなく、下記の実組みを行い、学会の社会的プレゼンスを高めることが必要である。広く社会へ向けて、発生した事象を分かり易く説明するとともに、今回の教訓をスマート化、高齢化が進展する今後の社会における停電リスクの軽減のために、どう活かすべきか提言する。

講演番号	題 目	講演者氏名
1	ブラックアウトとはどういう現象か、北海道ではどのような事象が発生したのか	未定：中立電力系統専門家
2	情報通信システムへの影響	未定：電子情報通信学会
3	鉄道への影響	未定：鉄道会社
4	水道への影響	未定：水道局
5	一般生活者への影響、高齢者(独居老人)への影響	未定：消費者団体
6	今回の教訓をどう活かすか 社会のリスク受容、方策の在り方、一般の方に意識して欲しい備え	未定：
7	パネルディスカッション	モデレータ、全講師